

越中一宮

高瀬神社社報

第14号

平成19年7月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏

社頭講話

祀まつるまつと祭り

宮司 藤井秀弘

前号で祀るから祭りがあることをお話ししましたが、今回も引き続き「祀ると祭り」についてお話しします

近年、どのような行事にも「○祭り」というような表現が多く使われていると感じるのは私だけではないと思います。「祭り」という言葉には単なるイベント的な意味だけではなく、神様の存在が中心にあって、感謝や祈願などの真心を捧げるという意味があります。最近には神様抜きにして、商店街の大売出しにも「祭り」を使うような嘆かわしい状況です。新しい時代の流れによって日本古来の美しい文化が失われ、人々の都合のよい文化に変わり、「祭り」が本来の姿から娛樂的要素がつよい形に変化してしまっただけです。

国立石川工業高等専門学校小倉学教授の『田の神と語る・奥

能登の農の心』という論文の中にはアエノコト、ゾンベラ祭り、マンザイロクト、イドリ祭りなど、祭りの原点とも言うべき行事が記述されており、大変敬服しながら読ませていただきました。「祭り」とは何か、更には「祀る」から「祭り」が生まれることを確信することができました。

アエノコト、ゾンベラ祭り、マンザイロクト、イドリ祭りなどは祭りであると同時に現在では奥能登に残された伝承文化となつています。小倉教授は奥能登の農業に従事する人々の中心はもとより、家庭生活全般にわたり、神々への感謝と畏れが生きていると書かれています。一年を通して神々と語り合い、その地域、その家庭の行事として神を祀り、祭りが行われます。二月に行われる「アエノコト」は田の神を迎える行事であり、

農業の仕事始めでもあります。また、九月にも行われるこの行事は田の神を送り、豊作を感謝する行事です。春秋に行われる「アエノコト」は豊作祈願と豊作感謝の意味があり、現在、全国の神社で斎行されている祈年祭と新嘗祭（伊勢の神宮は神嘗祭）の原形ではないかと思われま

す。今は奥能登地方だけに残っているこの行事ですが、以前は全国各地で、形式を異にしながらも同じ意味の行事が行われていたと推測できます。また、能登町（現能登町）に伝承されている奇祭「イドリ祭」は収穫に対する感謝の心を変形したものであり、「イドリ」は「イドル」の方言で「非難する」とか、「しじわる」の意味があり、「あとう」には次回の更なる豊作を祈る心の表現と言われています。

わが国には四季があります。この四季が今も昔も私たちの生活に大きな影響を与えています。冬の厳しさの中に心引き締まるものを感じ、春のやわらかな陽射しに安らかさを感じ、若芽の美しさに魅了されます。夏の爽やかな青空に清々しさを感じ、

秋の夕暮れに哀愁を感じる。四季の中に人知を超えた「神」の存在を敏感に感じ取り、その神を祀り、慰め、祈り、感謝を捧げたことから儀式としての祭りが生まれました。

本来の祭りと単なる行事やイベントの祭りが異なるものであることは言うまでもありません。本来の祭りには、私たち祖先が神々に対して抱いた畏敬の心が込められています。これに祖先の靈魂（祖霊）を敬う現代人の敬神崇祖の心を込めなければ本当の「祭り」になりません。この様に先祖代々の「心」と現代人の「心」がつながり、一つになって初めて「祭り」という言葉が使われるべきではないかと思えます。

「伝統行事（祭り）」は伝統精神（祀り）の上に存在しており、心の伝承なくして正當な祭りの継承はないと考えます。



祭 事 曆

祈年穀祭

特殊神事の「祈年穀祭」が六月十日午前十時より厳かに斎行されました。

まず、御神前で御神火が採火され、あんどんのロウソクに分火されました。

宮司祝詞奏上につづき、砺波地区農業協同組合協議会からの幣帛が供えられ、参向使を務める佐野日出男会長による祭文が奏上されました。本殿での祭儀の後、奉仕員・参列者が境内大鳥居前に整列し、宮司と参向使によって篝火が点火され、参列者一同豊作を祈り、拝礼しました。また、多年にわたり農業の発展に寄与された四氏に「根尾宗四郎氏・上田又一氏遺徳顕彰事業」により表彰状と記念品が贈られました。

■農事功労表彰

- 池田 賢孝殿(南砺市大島 二五五)
- 佐野 俊之殿(小矢部市西中 一三〇)
- 中村 正明殿(小矢部市藤森 五二八)
- 石原 伸之殿(小矢部市法楽寺 二四二)

翌十一日には神輿渡御が行われ、砺波地区の各農業協同組合を巡幸しました。各農協とも組合長以下職員参列のもと祭儀が斎行され、御神火をロウソクに分火し、本年も農作物に病虫害が発生せず豊作になるよう祈りました。

■神輿渡御行程

- なんと農業協同組合(南砺市金戸)
- 福光農業協同組合(南砺市荒木)
- いなば農業協同組合(小矢部市石動)
- となみ野農業協同組合(砺波市宮沢町)



御神山「牛岳」のこと 御開扉大祭



御神山の「牛岳(標高九八七メートル)」の開山祭が去る五月二十日山頂の奥宮で斎行されました。本年は暖冬の影響で残雪も無く、富山市側と砺波市側の二つの登山口より、地元関係者や登山愛好家約二〇〇名が登頂し、今年の登山の安全を祈りました。

また、二十七日には例祭に併せ、二十三年に一度の「御開扉大祭」が行われました。修祓の後、御扉が開かれ、牛に乗った御祭神(天

国主命)が参列者の前に姿を現わされました。

砺波市庄川町湯山の湯谷地区青年会が獅子舞を奉納し、登山者には紅白餅が振る舞われました。祭儀に先立ち、平成十七年の大雪で倒壊し、昨年十月に再建された大鳥居の「清祓式」も斎行されました。



「神宮杉」苗木拝戴

伊勢の神宮の温かいお心遣いによりまして、杉苗木を拝戴しました。

去る四月十一日、権宮司が神宮に赴き、神楽殿での奉告参拝につづき、神宮司廳にて営林部より苗木を受領しました。

拝戴した苗木は四月十三日の月次祭あわせ、職員・氏子により「植樹」しました。

平成十七年に拝戴した松苗木も順調に生育しており、社叢の復活が待たれます。



金 婚 祭

四月八日午前十時より「金婚祭」が斎行されました。

高瀬地区老人クラブ連合会(岩倉善三会長)の会員が見守る中、本年金婚を迎えられた二組のご夫婦が玉串を奉り拝礼された後、金婚祝証と記念品が贈呈されました。

また、祭典に先立ち七十名の会員により境内の清掃奉仕が行われました。

(金婚者)

笠田利夫・秀子夫妻(南砺市北市)
小西芳長・節子夫妻(南砺市高瀬)



献 花 式

高瀬遺跡菖蒲祭り実行委員会主催の「第三十三回菖蒲まつり」が六月二十三・二十四日に開催されました。開催に先立ち、竹

村武夫実行委員長はじめ関係者約二十名の参列により、「献花式」が斎行され、権宮司の祝詞奏上に続き、「花菖蒲一对」が御神前に供えられ、まつりの成功を祈願しました。

祭典後、表参道より高瀬遺跡までボイスカウトによるオーブニングパレードが行われ、祭りを盛り上げました。



諸祭事のこと

八乙女山開山祭

八乙女山(標高七五六メートル)山頂に鎮座の「風神堂」の例祭が、去る六月四日に斎行されました。

約一〇〇名の参列者は春と秋に吹き荒れる当地方特有の大風による風災が無く無事過ごせるよう祈りました。

祭典後、「八乙女風神太鼓」による奉納演奏もありました。



献穀田だより
「御田植祭」齋行



井波地域中核農業士協議会（片田功会長）による献穀田の御田植祭が、去る五月二十日、南砺市清玄寺の池田喜昭氏（本年奉耕者）の水田で齋行されました。天候にも恵まれ関係者六十名が参集し、五名の早乙女によりコシヒカリの苗が丁寧に植えられました。

り取られる稲は御神前にお供えされるほか、伊勢の神宮にも奉献されることになっております。

◇本年早乙女奉仕者

- 澤田沙来さん（井波中学三年）
- 埴生真央さん（井波中学二年）
- 前川朱里さん（井波中学一年）
- 林 美咲さん（井波中学一年）

参拝日誌抄

（敬称略）
（平成十九年三月～五月）

「三月」

- 四日 富山県神社総代会
- 東西砺波支部役員会
- 十三日 献茶奉賛会役員会
- 十七日 米原商事(株)（安全祈願祭）
- 十九日 献穀田種粉清祓式

「四月」

- 八日 氏子清掃奉仕（村総出）
- 高瀬地区老人クラブ連合会（金婚奉告祭）（清掃奉仕）
- 十三日 立正佼成会（清掃奉仕）
- 十八日 利賀村森林組合（安全祈願祭）
- 十七日 献茶奉賛会役員会 十五名
- 二十七日 パルスエンジニアリング(株)

（創立記念日奉告参拝）

「五月」

- 七日 多賀大社宮司 中野幸彦 職員二十四名
- 十日 多賀大社権宮司 木村光伸 職員十九名
- 十一日 南砺市交通安全協会（春の交通安全祈願祭）
- 庄川SC安全協議会 三十二名
- 二十三日 神社庁砺波支部研修会
- 二十八日 立正佼成会（清掃奉仕）



四月十日春季祭にて

参列者一同で撮影しました

結婚式場だより

ブライダルフェア

平成十九年七月八日(日)

午前10時：神前式セミナー
模擬結婚式

午後二時：神前式セミナー
模擬結婚式
模擬披露宴

午前10時～午後五時
婚礼商品展示
ドレス試着会
ウェディングケーキ試食
お見積相談など

和装体験会

平成十九年八月四日(土)

午前10時～午後五時
和装試着・カツラあわせ

着こなしマナー相談
ハネムーン相談
お見積相談など



体験フェア

平成十九年九月九日(日)

午前10時：神前式説明会

午後二時：模擬結婚式

午後四時：婚礼料理試食会
(要予約)

午前10時～午後七時
お見積相談・説明・
会場見学など

7月

| S | M | T | W | T | F | S |
|----|----|----|----|----|----|----|
| ① | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | ⑦ |
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
| ⑮ | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | ⑳ |
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | ⑳ |
| 29 | 30 | 31 | | | | |

8月

| S | M | T | W | T | F | S |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 |
| 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

9月

| S | M | T | W | T | F | S |
|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | 1 |
| 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | ⑧ |
| 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
| 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| ⑳ | ㉑ | 25 | 26 | 27 | 28 | ㉒ |
| 30 | | | | | | |

7月・8月・9月は毎週土日に相談会を開催！
また、○印の日は結婚式見学が出来ます。
詳細は、担当黒田までお問い合わせをお願いします。
TEL 0763-82-0932

ご結婚おめでとうございます

昨年十二月から本年五月まで
御婚礼の御儀を執り行われた皆様です。
(挙式日、時間順)

(十二月)

十日

瀧田龍也様

十六日

真由美様

十七日

堅田正市様

十三日

玲子様

(一月)

小森茂浩様

十一日

香様

(二月)

高田喜裕様

二十四日

瑞恵様

十一日

吉川一幸様

(三月)

奈央様

三日

松本英撰様

(四月)

山下雅史様

十五日

千尋様

(五月)

田中嘉之様

四日

横山大観様

(三月)

千鶴様

三日

林賢克様

(三月)

英吏子様

十三日

小西毅様

(三月)

黒田一義様

三日

岩倉隆弘様

(三月)

由佳子様

ご新郎ご新婦の末永いご多幸とご両家益々のご繁栄をお祈り申し上げます。

ご案内

「例祭」

九月十三日(木)

午前十時より齋行

御本社につづき功靈殿大祭を齋行いたします。

皆様お揃いでご参拝下さい。

「第四十五回奉納剣道大会」

九月十七日(月)

午前九時より

奉告祭ののち、境内にて開催します。

砺波地区内の小中学生・高校生剣士の熱戦が展開されます。

応援をお願いします。

「第三十四回献茶式」

十月二十八日(日)

午前十一時齋行

(お茶席・二席)

午前八時三十分～午後三時

(本席)

表千家流

(茶券)

一枚三千円(短冊・点心付)

私たちの人生儀礼

ご家族お揃いでお参りしましょう。

家内安全・交通安全・初宮詣・安産祈願・厄除・人生儀礼など「御祈禱」は毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯もありますので、不明な点は社務所までおたずね下さい。

「七五三詣」

本年は次の通りです

○七歳(女子)

平成十三年生

○五歳(男子)

平成十五年生

○三歳(男女)

平成十七年生

「元服祝(男子)」

十五歳(平成四年生)

強い身体と精神力を持った「益荒男」として雄々しく男らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。

「髪上げ祝(女子)」

十三歳(平成六年生)

心清らかで勇氣・機転・情愛を持ちあわせた大人の女性に成長してほしいと祈る人生儀礼です。

「戌の日」安産祈願

(七月～十二月)

(七月) 三日(火)

(八月) 八日(水)

(九月) 十三日(木)

(十月) 十九日(金)

(十一月) 二十四日(土)

(十二月) 六日(木)

十八日(火)

三十日(日)

※お参りの際「腹帯」をご持参下さい。

「奉納」

○境内参道玉砂利舗設

砺波市庄川町金屋

(株)川上建設 代表 川上光泉殿

(六月十五日)

駐車場完成

境内西側において、昨年より進めてまいりました駐車場が完成しました。

乗用車約九十台が駐車できるスペースとなっております。お参りの際にはどうぞご利用下さい。



編集後記

表紙を飾ります宮川に、例年になく蛍が乱舞しており、毎晩大勢の参拝者で境内は賑わっていました。環境問題が取り沙汰される昨今ですが、改めて自然の大切さを痛感しました。

本年も、伊勢の神宮のお取り計らいにより、杉苗木を拝戴し、職員氏子により植樹されました。苗木の成長とともに、皆様の栄を祈念申し上げます。

【表紙写真】

初夏の宮川



和装体験会

平成19年8月4日(土)
午前10時～午後5時まで

- ・和装衣装展示
- ・カツラ試着会
- ・和装のマナー相談
- ・ポーズの決め方講習会 など



体験フェア

- 午前10時～ 神前式説明会
 - 午後2時～ 模擬結婚式
 - 午後4時～ 婚礼料理試食会(要予約)
- 1人4,500円

9月9日(日)



全国にあなたのお花をお届けします



ミナミフラワーショップ



南 幹 子

7月の誕生花 グロリオサ

●花ことば…栄光

グロリオサは、ラテン語の「栄光の、見事な」に由来します。他のユリ科の花と違って、花びらを大きく反転させて誇らしげに咲く個性的な花です。自由奔放な姿からも感じられるように、グロリオサはパワーの強い花とされています。

富山県南砺市寺家新屋敷366
TEL 0763-22-1417
FAX 0763-22-6388

発行日 平成十九年七月一日
発行所 越中一宮 高瀬神社社務所 〒933-0251 富山県南砺市高瀬二九一
TEL 〇七六三三八二〇九三三
FAX 〇七六三三八二二〇〇四
編集人 浦 泰 宏
印刷所 牧印刷株式会社